

事業所における自己評価結果（公表）

公表日：令和 5年 2月20日

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	法令で定める適切な基準を満たしています。運動療育と学習のスペースを分け、室内は児童がわかりやすく、過ごしやすい環境にしています。	
	2	職員の配置数は適切である	8	国の定める配置基準以上に有資格者で満たしています。	より良い支援をできるように今後も人員配置に考慮していきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8	児童に分かりやすい環境に配慮しています。玄関前には2段ほどの階段があり、バリアフリーではありませんが階段などには付きそって、安全面に配慮しています。	テナントの為、バリアフリーにすることは難しいですが、支援が必要な児童については手を繋ぐなど、安全面に配慮しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8	児童たちが活動をしやすいようより良い環境に配慮しています。日々の掃除と消毒を行っています。	毎日、机や椅子や玩具などの消毒を行っています。
業務 改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	8	勤務の職員が揃う時間に業務連絡、療育内容の確認など話し合いの場を設けております。また、月2回のリフレクション会議を実施し支援の改善点、療育の計画などすべての職員が情報を共有できるように図っております。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	年に一度のアンケートを実施し、評価を元に保護者様のご意見を職員同士で情報共有し、業務改善に繋がっています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	COMPASS 発達支援センター公式Web サイトにて公開しております。	今後も公式webサイトで公開してまいります。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
適切な 支援の 提供	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	年間計画にそった定期的な研修を実施し、職員の資質向上の機会を確保しております。	現在はコロナウイルスの関係で研修機会が制限されていますが、事業所内では話し合いをする場を設けています。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	アセスメントを適切に行い、児童や保護者様のニーズや課題を把握し、より良い支援、療育をできるようにしています。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	社内共通様式で標準化したアセスメントシートを使用しています。	
	12	児童発達支援計画には、「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8	児童発達支援管理責任者が中心となって児童発達支援ガイドラインを踏まえた上で、保護者様のご意向を取り入れ、個々に合った支援計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	児童発達支援計画について職員間で共通認識を図り、熟知した上で支援に取り組んでいます。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	事業所内で話し合い、児童の特性を把握し、意見をまとめ、立案しています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	職員間でより良い支援をできるように話し合い、固定化しないような活動を検討し、取り組みを行っています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	8	日々の利用児童の状況を把握し個々に合った活動に取り組んでいます。児童の課題に応じた個別活動と集団活動の両方を適切に組み合わせ作成を行っています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	毎朝のミーティング等で利用児童の状況を伝え合い、当日の支援内容や児童たちの最近の様子について確認などを行い相互確認をしています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	現場にいる職員で打ち合わせを行い、振り返りなどを行っています。送迎でその場にいられない職員にはノートを活用し、共通理解ができるようになっています。	
関係 機関 や 保護 者 と の 連 携	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	日々の経過記録を共有し、支援の改善に繋がっています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8	6か月以内に必ずモニタリングを行い保護者様のニーズと児童の現状を把握し、計画の見直しをしています。	必要に応じて、期間を問わずモニタリングを行い、計画の見直しを行います。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	対象児童について、事前に職員間で話し合い、現状把握の上で児童発達支援管理責任者が担当者会議に参画しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8	関係機関との連携を図り支援を行っています。	
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	8	現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	8	現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	必要に応じ、担当者会議や送迎などで、保護者様の同意を得て支援の見学、情報共有、相互理解に努め、連携を行っています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	必要に応じ、保護者様の同意を得て、就学時に移行先を交えて担当者会議を行い、事業所内での様子をお伝えし、情報共有に努めています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	専門機関と連携し、情報交換を行い、助言を受け、他事業所とも意見交換・共通理解ができるよう連携を図っています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	8	今年度もコロナ禍のため交流機会を企画できておりません。	コロナ収束後に、保護者様のご意見を踏まえ、地域と連携や交流を検討してまいります。
保護 者 へ の 説 明 責 任 等	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加している	8	コロナ禍でもあり、協議会への参加機会はありませんでした。	コロナ収束後には、積極的に参加してまいります。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	送迎時等に保護者様と話し、その日の様子を伝え、共通理解を持てるようにしています。また、保護者様と積極的な意見交換を行いより良い支援へつなげていきます。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	8	保護者様と現在の状況を一緒に把握し、色々な支援方法を考え、適切なアドバイスができるように心がけています。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	契約時には丁寧な説明をするように心がけています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8	ガイドラインに基づいて支援計画を作成しています。保護者様へ支援計画の内容を示す中で分かりやすい言葉を使った、現状のご説明を丁寧に行っています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	児童の状況や内容を十分把握して色々な視点からアドバイスや助言ができるように心がけています。保護者様のお気持ちに寄り添うよう助言を行い、職員間でも話し合った内容を確認し良い支援ができるように心がけています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8	今年度もコロナ禍の為、父母の会を開催する機会を持つことはできませんでした。	保護者様のご意向に配慮し、感染症対策を行い、保護者様同士や職員と交流できる機会を検討してまいります。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8	相談や申し入れがあった場合、迅速に対応するようにしています。苦情窓口と責任者の配置も行っていきます。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	行事予定や活動概要は連絡帳やカレンダーに掲載しています。季節ごとに「COMPASSだより」を発行し、公式Webサイトのブログでは毎日事業所の活動内容や児童の成長をご紹介します。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8	事業所内の個人情報には鍵付の書庫に保管しています。写真掲載など、個人情報に関わる場合には保護者様へ同意を得ています。	個人情報は今後も細心の注意を払い、取り扱いや保管を行ってまいります。
非常 時 等 の 対 応	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	児童の特性に合わせて情報伝達や意思疎通の配慮を行っています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っている	8	今年度もコロナ禍のため、地域住民をご招待する機会を持つことができませんでした。	今後コロナ収束後は、保護者様のご意向を伺いながら検討して行きたいと思っております。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8	事業所内にマニュアルや対策を提示し保護者にもお伝えしています。また、年間計画を立て訓練を行っています。	掲示場所を再度ご案内していきます。また、カレンダーにも記載をし保護者様により分かりやすくしています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	年度初めに年間計画を立て、定期的に児童も参加して避難訓練を行っています。	今後も定期的に訓練を行い、訓練後には改善点を話し合い、次回の訓練に繋がっていきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8	アセスメント実施時に、聞き取りをしています。てんかん発作時の対応法を保護者様により詳しく聞き、掲示、職員に周知しています。また、定期的に保護者様に発作が起きていないかを確認し職員に周知しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされている	8	食物アレルギーについては、契約時、保護者様から十分に聞き取りを行い、全職員で周知徹底に努めています。	食物によるアレルギー発作を決して起こすことのないよう今後も細心の注意を払い、慎重に対応してまいります。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	ヒヤリハット報告書を作成し、事例はファイルで保管し、ヒヤリハット報告書を作成した時は全職員が押印をして内容確認して再発防止に繋がっています。	
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	最低年一回は虐待の研修を行い、事業所内で虐待責任者を選定しています。		
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8	利用契約時には、身体拘束の禁止が記載されており身体拘束は身体を保護するためにやむを得ず行う場合には、あらかじめ保護者様の同意を得ることにしています。	原則として身体拘束を避ける基本姿勢を守り、緊急時（命に関わる事象が起きた場合、他に手段がない止むを得ない状況の場合）に限ることを十分に説明をし、同意を得て個別支援計画に記載してまいります。	